Panasonic

取扱説明書

DVDホームシアターサウンドシステム

品番 SC-HT805W

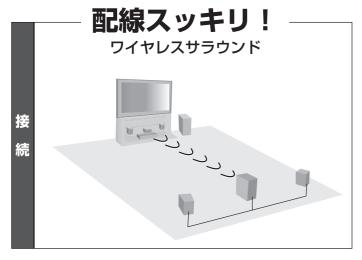
DVDビデオのリージョン番号

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。
本機の番号は「2」です。
「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」が表示されたDVDビデオの再生が可能です。

(例)

このたびはパナソニックDVDホームシアターサウンドシステムを
お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(➜43〜45ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

RQT8623-2S

特長

配線スッキリ！

ワイヤレスサラウンド

接続

省スペース！

コンパクト・ホームシアター

設置

HDMI端子搭載

カンタン接続、キレイな映像

接続・再生

■システム構成

システム	SC-HT805W
本体	SU-HT805
フロントスピーカー	SB-FS805
センタースピーカー	SB-PC805
サラウンドスピーカー	SB-FS806
サブウーハー	SB-W805
トランシーバー	SH-FX80T
レシーバー	SE-FX60

付属品

- 品番は、2006年3月現在のものです。変更されることがあります。
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご注文ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

付属品をご確認ください。

□ リモコン ★
【EUR7662Y50】

□ 電源コード ★
【RJA0012-K】(2本)

□ リモコン用乾電池 ☆
(単3形・2本)

□ 映像コード ★
【K2KA2BA00001】

□ スピーカーラベル ★
【RQCXA0013】

付属品は、販売店でお買い求めいただけます。
★印、および9ページに記載の別売品は、松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。(☆印は「パナセンス」では取り扱っていません。)

http://www.sense.panasonic.co.jp/

もくじ

ご使用の前に

まず ご使用の前に

使ってみよう

さあ 使ってみよう

必要なとき

もし 必要なとき

ステップ1 各機器を設置する

- スピーカーおよびレシーバーは平らで安定した場所に設置してください。
- スピーカーを、床、壁、あるいは部屋のコーナーに近づけすぎると、低音が響きすぎる場合があります。その場合は、厚いカーテンで壁および窓を覆ってみてください。
- スピーカーを持ち運ぶとき、ネット部分を持つとネットが破れる恐れがあります。必ずスピーカー側面を持つようにしてください。
- スピーカーを壁にかけるとき➜6ページ

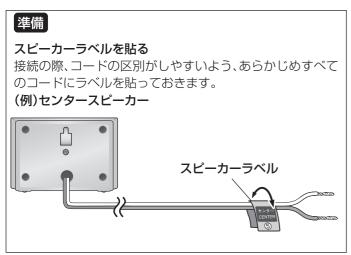
設置例

視聴位置から各スピーカーが同じ距離にあるのが理想です。

※正常な通信状態を保つため、トランシーバーやレシーバーを金属製のキャビネットや本棚などの中で使用しないでください。

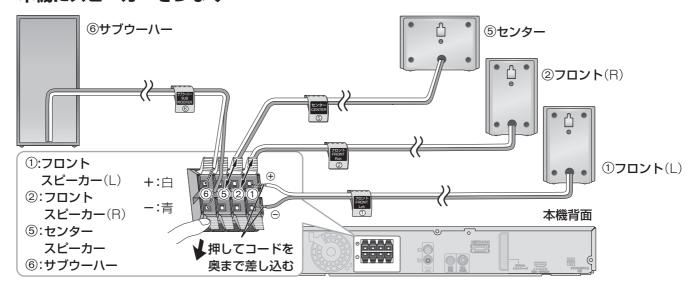
■スピーカーについて

- 付属のスピーカー以外は使えません。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- ⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因になります。
- 大音量での連続使用は避けてください。スピーカーの特性が劣化したり、スピーカーの寿命が極端に短くなることがあります。
- スピーカー破損の原因になることがあるので、次のような場合は音量を下げてください。
  －音がひずんだとき
  －音質を調整するとき
  －電源を「入」「切」するとき
  －レコードプレーヤーのハウリング音や発振器、テストディスクなどの大きな振動信号が連続して加わるとき

■テレビの色ムラについて

付属のフロントおよびセンタースピーカーはテレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム（防磁設計 JEITA※）ですが、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合、

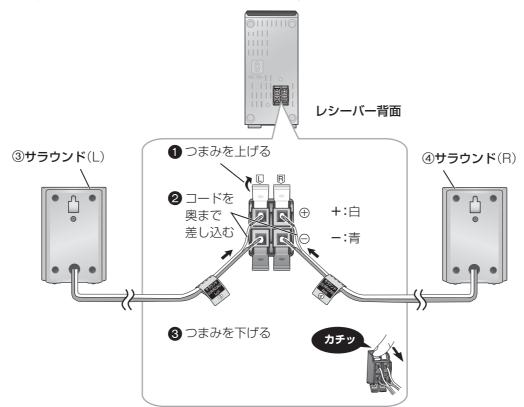
- 一度、テレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。（テレビの自己消磁機能が働きます。）改善されないときは、スピーカーをさらにテレビから離してください。
- 近くに磁石などの磁気を発生するものを置かないでください。

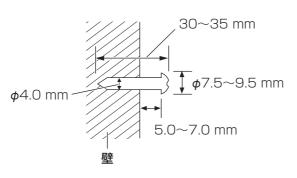
※ JEITA［（社）電子情報技術産業協会］の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

■レシーバーの設置について

本機のワイヤレスシステムは、ご家庭で使用される他の2.4GHz帯域で動作する電気製品（コードレス電話やワイヤレスLANを備えたコンピュータ、あるいは電子レンジなど）と同じ無線周波数を利用しています。本機のワイヤレスシステムを使用中に、他の電気製品による電波干渉を防止するため、レシーバーとトランシーバーの間や近くには他の電気製品を置かないようにしてください。**（使用上のお願い➜45ページ）**

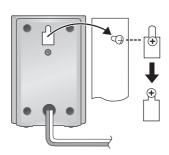
ステップ2 スピーカーを接続する

準備

スピーカーラベルを貼る
接続の際、コードの区別がしやすいよう、あらかじめすべてのコードにラベルを貼っておきます。
(例)センタースピーカー

1 本機にスピーカーをつなぐ

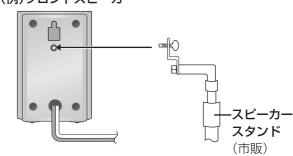
2 サラウンドスピーカーをレシーバーにつなぐ

ステップ2 スピーカーを接続する(つづき)

スピーカーを壁に取り付ける

付属のフロント･サラウンド･センタースピーカーは壁にかけることもできます。

1 壁にネジ(市販)を取り付ける

2 スピーカーを取り付ける

スピーカー後面のネジ穴に、ネジをしっかりとはめ込む。
※壁に10 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。詳しくは、施工者の方などにご相談ください。

(例)フロントスピーカー

この位置では、スピーカーが落下する恐れがあります。

この位置までネジをしっかりとはめ込んでください。

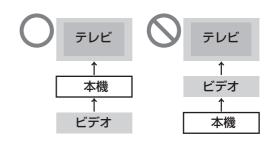
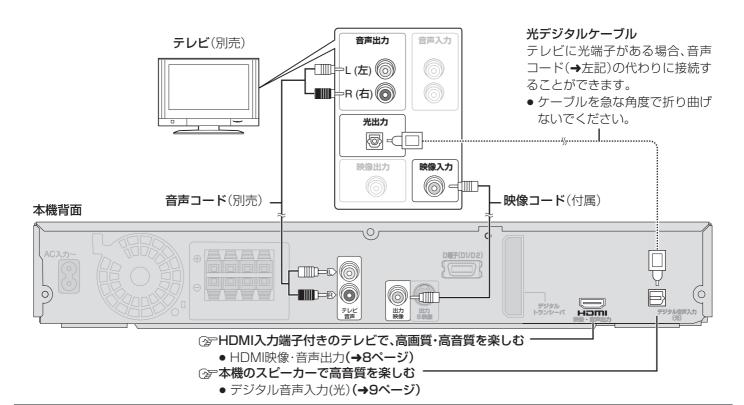
スピーカーを市販のスピーカースタンドに取り付ける

お買い求めの際、以下の点をご確認ください。

- スピーカーを取り付けるためのネジのサイズがφ5 mm、ピッチ0.8 mmであること。
- 10 kg以上の重量を支えられる強度を持っていること。
- 高い位置にスピーカーを取り付けても、安定した設置が可能であること。

(例)フロントスピーカー

ステップ3 テレビを接続する

準備

- 各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 接続する各機器の説明書もお読みください。

お願い

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。セレクターなどを経由させて接続すると、著作権保護の影響により、DVD再生時に映像が乱れることがあります。

お知らせ

- 「ビデオ側入力端子」と「テレビ側入力端子」を持つビデオ内蔵テレビと接続するときは、テレビ側入力端子に接続してください。
- テレビからの音声を本機のスピーカーで聞くには本機の**[入力切換]**、またはリモコンの**[テレビ音声]**で“TV”(テレビ音声)を選んでください。**(➜12、13ページ)**

より高画質で楽しむ

HDMI 映像・音声出力端子

HDMIはHigh-Definition Multimedia Interfaceの略です。

1本のケーブルで映像と音声信号を劣化させることなくデジタルのまま伝送できます。DVDがもつ高画質・高音質の特性を、簡単な接続で楽しむことができます。

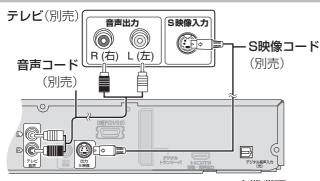
お知らせ

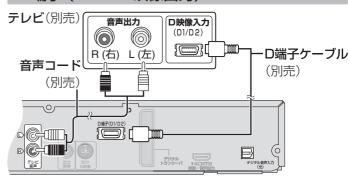
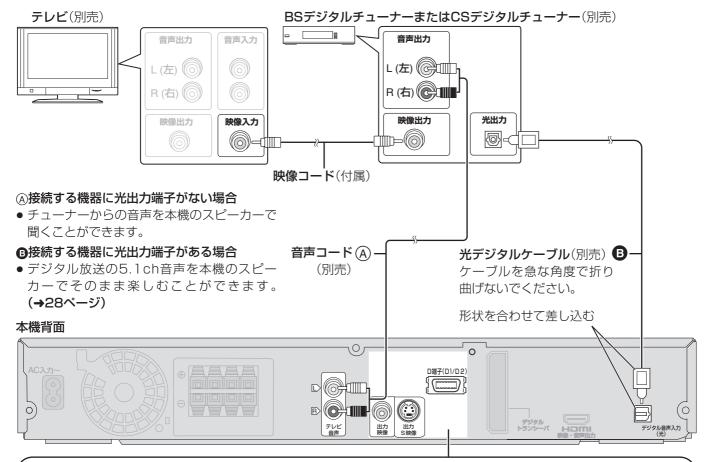
- より安定した動作や、画質劣化などの防止のため、当社製HDMIケーブルをお使いになることをおすすめします。**(別売品➜9ページ)**
- CPPM**(➜36ページ)**非対応機器と接続すると、CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声は"HDMI映像・音声出力"端子からは出力できません。
- テレビ音声を本機のスピーカーで聞くには以下のいずれかの音声接続も行ってください。**(➜7ページ)**
  —テレビの音声出力端子(左/右)と本機のテレビ音声端子(左/右)
  —テレビの光出力端子と本機のデジタル音声入力(光)端子

VIERA Link (HDAVI Control)機能には対応していません。

HDMI映像を楽しむには

初期設定画面で以下の設定をしてください
("HDMI"➜32ページ)。

- 初期設定"映像出力"を"入"にする
- 初期設定"音声出力"を"入"にする

テレビ(別売)
音声出力
R (右) L (左)
HDMI映像・音声入力
HDMI
音声コード(別売)
HDMIケーブル(別売)
本機背面
AC入力～
D端子(D1/D2)
テレビ音声
出力映像
出力S映像
デジタルトランシーバ
HDMI 映像・音声出力
デジタル音声入力(光)

S映像出力端子

D端子 (D1/D2 映像出力)

お知らせ

- テレビ音声を本機のスピーカーで聞くには以下のいずれかの音声接続も行ってください。**(➜7ページ)**
  —テレビの音声出力端子(左/右)と本機のテレビ音声端子(左/右)
  —テレビの光出力端子と本機のデジタル音声入力(光)端子

お知らせ

- テレビ側にコンポーネント端子しかない場合、D端子ピンケーブルを使って接続できます。**(別売品➜9ページ)**
- プログレッシブ映像を楽しむには**(➜36ページ)**プログレッシブ対応テレビと「D端子(D1/D2)」を使って接続した後、以下の設定をしてください。
  ①"映像出力"**("HDMI"➜32ページ)**を"切"に設定する。
  ②"ビデオ出力モード"を"525p"にして、画面の指示に従う。**(➜26ページ)**
- テレビ音声を本機のスピーカーで聞くには以下のいずれかの音声接続も行ってください。**(➜7ページ)**
  —テレビの音声出力端子(左/右)と本機のテレビ音声端子(左/右)
  —テレビの光出力端子と本機のデジタル音声入力(光)端子

BS･CSデジタルチューナーと接続する

本機のデジタル音声入力端子(光)を使ってBS･CSデジタルチューナーと接続すると、5.1chのデジタル放送を迫力のあるサラウンド音声で楽しむことができます。

Ⓐ**接続する機器に光出力端子がない場合**
- チューナーからの音声を本機のスピーカーで聞くことができます。

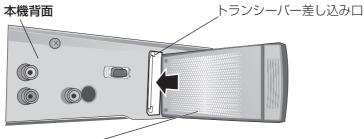
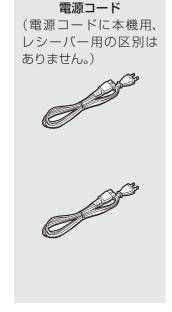
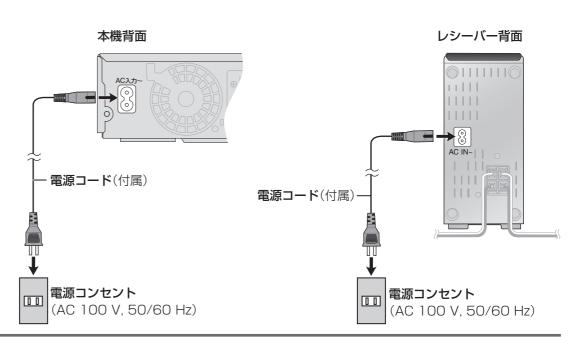
Ⓑ**接続する機器に光出力端子がある場合**
- デジタル放送の5.1ch音声を本機のスピーカーでそのまま楽しむことができます。(➜28ページ)

■映像端子について

本機からの映像を見るためには、本機の映像端子を直接テレビに接続します。
テレビ側の端子に合わせて映像入力端子(コンポジット)、S映像入力端子、D映像入力端子(D1/D2)のいずれかに接続してください。(➜7、8ページ)

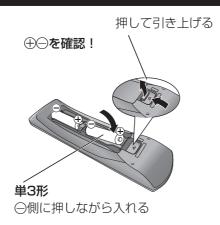
別売品のご紹介 (2006 年 3 月現在)

(品番にはすべてRP-がつきます。)

名 称	品 番(RP-)	名 称	品 番(RP-)
S映像コード	CVS0G10(1.0 m)	音声コード	CAP3G05(0.5 m)
	CVS0G20(2.0 m)		CAP3G10(1.0 m)
	CVS0G30(3.0 m)		CAP3G15(1.5 m)
	CVS0G50(5.0 m)		CAP3G20(2.0 m)
D端子ケーブル	CVDG15A(1.5 m)		CAP3G30(3.0 m)
	CVDG30A(3.0 m)		CAP3G50(5.0 m)
	CVDG50A(5.0 m)		CAP3G100 (10.0 m)
D端子ピンケーブル	CVCDG15(1.5 m)	HDMIケーブル	CDHG15(1.5 m)
	CVCDG30(3.0 m)		CDHG30(3.0 m)
光デジタルケーブル	CA2005A(0.5 m)		CDHG50(5.0 m) など
	CA2010A(1.0 m)		
	CA2020A(2.0 m)		
	CA2030A(3.0 m)		

ステップ4 トランシーバーを接続する

トランシーバー
模様がある面を左にしてカチッと音がするまで、完全に差し込んでください。

- **本機の電源が入っているときは、トランシーバーを抜き差ししないでください。**

ステップ5 電源コードを接続する

電源コードは、スピーカーの接続や他機器との接続など、すべての接続が終わったあとに接続してください。

■節電のために

本機やレシーバーは、待機状態でも少量の電力を消費しています（本機：0.3 W／レシーバー：1.2 W）。長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。ただし、再使用時には機能の再設定が必要な場合があります。

ステップ6 リモコンの準備

乾電池(付属)を入れる

使用範囲

リモコン受信部

左右にそれぞれ角度約30°以内

上下にそれぞれ角度約20°以内

20° 20° 30° 30°

正面で約7m以内

リモコン送信部

ステップ7 クイックセットアップ

お買い上げ後はじめて[初期設定]を押すと、基本的な設定を簡単に行える「クイックセットアップ」画面が表示されます。

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。（ビデオ1など）

1 電源 を押して、本機の電源を入れる

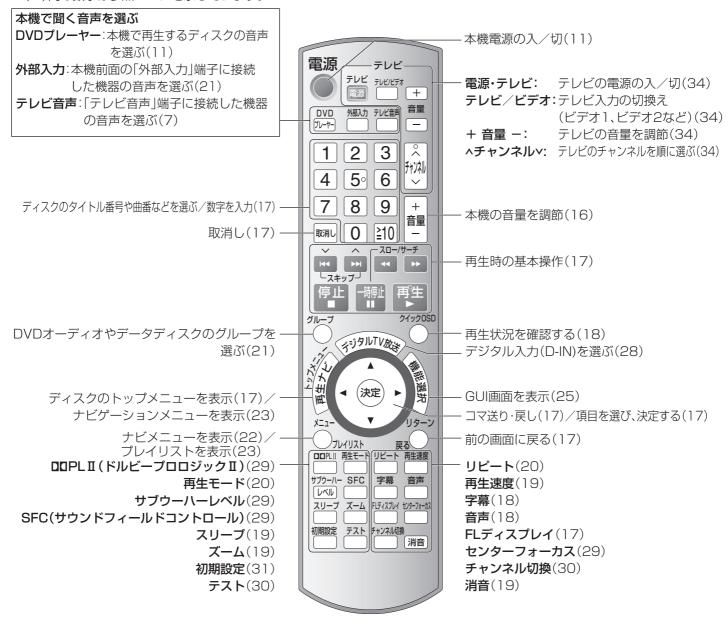
2 DVD プレーヤー を押して、"DVD/CD"を選ぶ

3 初期設定 を押して、クイックセットアップ画面を表示させる

以下の設定ができます。
- 画面メニュー言語
- 接続するTV
- TVアスペクト

4 する を選び、決定 を押す
- 画面の指示に従って設定してください。

5 決定 を押して、クイックセットアップを終了する

6 リターン 戻る を押して、クイックセットアップ画面を消す

設定しなおすには

初期設定の"その他"で"クイックセットアップ"を選んでください。
(➜32ページ)

各部のはたらき

リモコン

※(　)内の数字は参照ページを示しています。

本機で聞く音声を選ぶ
DVDプレーヤー:本機で再生するディスクの音声を選ぶ(11)
外部入力:本機前面の「外部入力」端子に接続した機器の音声を選ぶ(21)
テレビ音声:「テレビ音声」端子に接続した機器の音声を選ぶ(7)

ディスクのタイトル番号や曲番などを選ぶ/数字を入力(17)
取消し(17)
DVDオーディオやデータディスクのグループを選ぶ(21)
ディスクのトップメニューを表示(17)/ナビゲーションメニューを表示(23)
ナビメニューを表示(22)/プレイリストを表示(23)
ꟷꟷPLⅡ(ドルビープロロジックⅡ)(29)
再生モード(20)
サブウーハーレベル(29)
SFC(サウンドフィールドコントロール)(29)
スリープ(19)
ズーム(19)
初期設定(31)
テスト(30)

本機電源の入/切(11)
電源・テレビ:　テレビの電源の入/切(34)
テレビ/ビデオ:テレビ入力の切換え(ビデオ1、ビデオ2など)(34)
＋ 音量 －:　テレビの音量を調節(34)
∧チャンネル∨:　テレビのチャンネルを順に選ぶ(34)
本機の音量を調節(16)
再生時の基本操作(17)
再生状況を確認する(18)
デジタル入力(D-IN)を選ぶ(28)
GUI画面を表示(25)
コマ送り・戻し(17)/項目を選び、決定する(17)
前の画面に戻る(17)
リピート(20)
再生速度(19)
字幕(18)
音声(18)
FLディスプレイ(17)
センターフォーカス(29)
チャンネル切換(30)
消音(19)

レシーバー

電源ランプ
電源コードを接続すると点灯

ワイヤレスリンクランプ
点灯:本体とリンクしているとき
消灯:本体とリンクしていないとき

本体(前面)

電源[⏻/I]ボタン
電源の入／切 (16)

ディスクトレイ(16)

リモコン受信部

－ 音量 ＋つまみ
音量を調節(16)

▲ 開/閉ボタン
ディスクトレイを開閉する(16)

I◀◀/◀◀, ▶▶/▶▶I
曲や場面を飛び越す(16)

ヘッドホンをつなぐ
(φ3.5 mm ステレオミニプラグ)
●音声は自動的に2chにダウンミックスされます。

表示窓

外部入力端子
ポータブルオーディオ機器をつなぎ、音声を本機のスピーカーで楽しめます。(φ3.5 mm ステレオミニプラグ)
音声を聞くには**[入力切換]**で"EXT-IN"を選ぶ(21)
● SFC(サウンドフィールドコントロール)で"MOVIE"、"SPORT"、"MUSIC"のいずれかを選ぶとサラウンド音声が楽しめます。

通電ランプ
本機に電源が供給されている時に点灯

入力切換ボタン
本機の入力音源を切換える(16)
DVD/CD→ＴＶ→D-IN→EXT-IN

▶ ディスクを再生する(16)

■ ディスクの再生を停止する(16)

表示窓

ワイヤレスリンクインジケーター
点滅:トランシーバーが本機に挿入されているが、レシーバーと無線でリンクしていないとき
点灯:レシーバーと無線でリンクしているとき
消灯:トランシーバーが本機に挿入されていないとき

再生できるディスクについて

市販ディスク

ディスク名称 ディスクロゴ	本文中での表示	特徴
DVD ビデオ	DVD-V	映画や音楽など、高画質の市販ソフト
DVD オーディオ	DVD-A (DVD-V ※)	音楽を中心とした高音質ソフト。映像なども含まれます。
ビデオCD	VCD	映像、音楽や音声が記録された市販ソフト ● SVCD(IEC62107規格準拠)を含む
CD	CD	音楽や音声が記録された市販ソフト ● 本機はHDCD(エイチディーシーディー)の再生に対応しています(Peak Extend(ピーク エクステンド)機能には対応していません)。HDCDは、16ビットで記録された通常のCDにくらべると、20ビットで記録されているので高音質です。

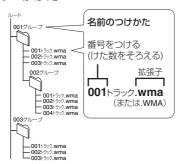
※ DVDオーディオの中のDVDビデオコンテンツを再生するには"その他のメニュー"で"DVD-Videoとして再生"を選んでください(➜27ページ)

再生できないディスク
・PAL方式で記録したディスク(DVDオーディオの音声は再生できます)
・DVD-RAM [2.6GB/5.2GB、TYPE1(カートリッジから取り出せないもの)]
・ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RW/DVD-R DL/+R/+RW/+R DL
・ブルーレイディスク
・DVD-ROM ・バージョン1.0のDVD-RW・CD-ROM
・CD-G ・SACD ・DivXビデオ
・Photo-CD ・CDV ・Chaoji VCD(IEC62107に準拠していない超級と呼ばれる市販の SVCD、CVD、DVCD)など

記録されたディスク(○:再生可 ×:再生不可)

ディスク名称 ディスクロゴ	再生できるファイル形式					ファイナライズ※4
	DVDレコーダーなどで記録されたディスク		パソコンなどで記録されたディスク			必要/不要
	DVD-VR ※2	DVD-V ※3	WMA	MP3	JPEG	
DVD-RAM	○	–	×	○	○	不要
DVD-R/RW	○	○	×	○	○	必要
DVD-R DL	○	○	×	×	×	必要
+R/+RW –	×	(○)	×	×	×	必要
+R DL –	×	(○)	×	×	×	必要
CD-R/RW※1 –	–	–	○	○	○	必要※5

● 使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作り方により再生できない場合があります(➜15ページ)
※1 本機は、CD-DAおよびビデオCDフォーマットで記録されたCD-R/RWを再生可能です。(WMA MP3 JPEG HighMATディスクも再生可能です。)
※2 DVDレコーダー、DVDビデオカメラなどVR(ビデオレコーディング)規格 Ver.1.1(ビデオ録画のための統一規格)で記録したディスク
DVD-R DL:DVDレコーダー、DVDビデオカメラのVR(ビデオレコーディング)規格 Ver.1.2 (ビデオ録画のための統一規格)で記録したディスク
※3 DVDレコーダーまたはDVDビデオカメラなど、DVDビデオフォーマットで記録されたディスク
+R/+RW、+R DL:DVDビデオフォーマットとは記録形式が異なるため、働かない機能があります。
※4 録音・録画したディスクを再生対応機で再生できるように処理すること。
※5 セッションクローズ(再生対応機で再生できるように処理すること)でも再生できるようになります。

パソコン等でファイルを作るときは

本機では、パソコン等を使って音声や静止画(WMA、MP3、JPEG形式)を記録したディスクを再生することができます。本機で正しく再生するために、以下の表をよくお読みのうえディスクを作成してください。

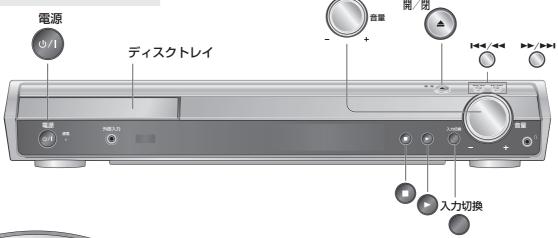
ファイル形式	ディスク	拡張子	備考
WMA	CD-R/RW	".WMA" ".wma"	● 対応ビットレート:48kbps～320kbps ● 著作権保護されたファイルは再生できません。 ● マルチプルビットレートには対応していません。
MP3	DVD-RAM DVD-R/RW CD-R/RW	".MP3" ".mp3"	● 対応ビットレート:32kbps～320kbps ● ID3タグには対応していません。 ● 再生可能なサンプリング周波数 DVD-RAM/DVD-R/RW : 11.02、12、22.05、24、44.1、48 kHz CD-R/RW : 8、11.02、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
JPEG	DVD-RAM DVD-R/RW CD-R/RW	".JPG" ".jpg" ".JPEG" ".jpeg"	● デジタルカメラで記録されたJPEGデータ [DCF (Design rule for Camera File system) 規格Ver.1.0準拠] を表示します。 ーパソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。 ● MOTION JPEGなどの動画やJPEG以外の静止画(TIFFなど)および音声付画像は再生できません。

- 8階層以降にあるグループは、メニュー画面の8階層目と同じ列に表示されます。
- 表示可能な漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外の漢字は"__"(アンダーバー)で表示されます。
- メニュー画面とパソコンの画面では表示順が異なることがあります。
- ディスクの作り方によっては、再生順が変わることがあります。
- パケットライト方式(データ記録方式の一つで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式)で記録されたファイルは再生できません。

フォルダ名・ファイル名のつけかた

本機ではパソコン等で作成したフォルダ・ファイル名はそれぞれグループ名・コンテンツ名として表示されます。

DVD-RAM
- 使用できるフォーマット:UDF2.00

DVD-R/RW
- 使用できるフォーマット:UDF1.02/ISO9660
- マルチセッションには対応していません。デフォルトセッションのみ対応しています。

CD-R/RW
- 使用できるフォーマット:ISO9660 level 1及びlevel 2(拡張フォーマットを除く)
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生開始まで時間がかかることがあります

DVDやCDを再生する

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。（ビデオ1など）

1 電源 を押して、電源を入れる

2 入力切換 を押して“DVD/CD”を選ぶ

3 開／閉 を押して、ディスクトレイを開ける

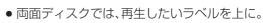
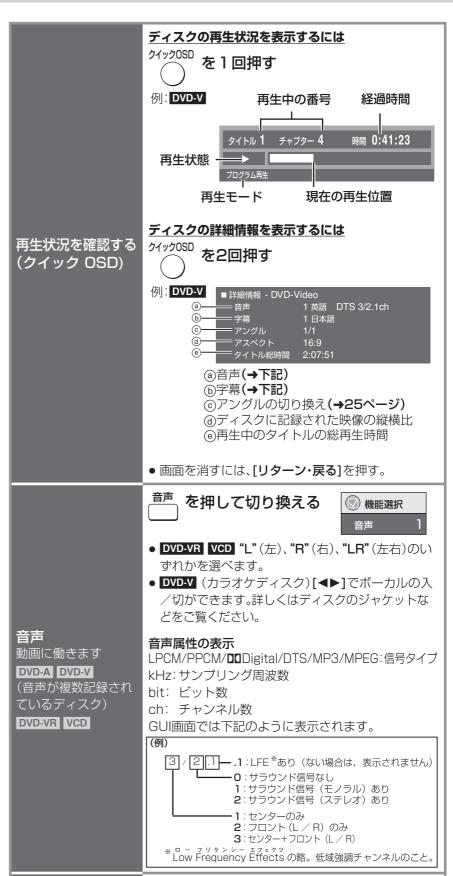
4 **ディスクを入れる**
- 両面ディスクでは、再生したいラベルを上に。
- DVD-RAMはカートリッジから取り出してください。

5 を押して、再生を始める
- シアターサウンドを楽しむには(➜29ページ)。

ディスクの番組やタイトル、項目などを飛び越す

を押す

- 再生中に押し続けると「早送り・早戻し」になります。(➜17ページ)
- 一時停止中に押し続けると「スロー再生」になります。(➜17ページ)
- [▶](再生)を押すと通常再生に戻ります。

6
を回して音量を調節する

お知らせ
- DVD-VR と別のフォーマット(JPEG 等)が混在するDVD-RAM内の JPEG または MP3 を再生するには、“データディスクとして再生”を選んでください(➜27ページ、その他のメニュー)。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。再生しないときは [■] (停止)を押して再生を停止してください。
- +R/+RWでは、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。

困ったときは、「故障かな！？」(➜38～40ページ)をご覧ください。

操作	ボタン	説明
停止	停止 ■	停止位置が記憶され、右の画面がテレビ画面に表示されます。 再生ボタンで続きから再生します。 (右の画面表示中は、記憶は残っています。) ● 右の画面が表示中に[▶ 再生]を押すと、停止位置から再生。(レジューム再生) ● 右の画面が表示中に[■ 停止]を押すと、停止位置の記憶は解除。
一時停止	一時停止 ❚❚	● [▶ 再生]を押すと通常再生に戻る。
早送り・早戻し (再生中) スロー再生 (一時停止中)	スロー/サーチ ◀◀ ▶▶	● 押すたびに5段階で速くなります。 ● [▶ 再生]を押すと通常再生に戻る。 ● VCD スロー再生:[▶▶]のみ
スキップ	⏮ ⏭ スキップ	ディスクの番組やタイトル、項目などを飛び越す。 ● DVD-VR マーカーにもスキップします。
グループ・コンテンツスキップ WMA MP3 JPEG	決定	[▲▼]:グループを飛び越す。 [◀▶]:コンテンツを飛び越す。 ● 一時停止中やプログラム・ランダム再生中(➜20、21ページ)は働きません。
コマ送り・コマ戻し (一時停止中) DVD-VR DVD-V VCD DVD-A (動画部のみ)	決定	● VCD [▶]のみ
メニュー操作	決定	[▲▼◀▶]で選択し、[決定]を押して登録する。
前の画面に戻る	リターン 戻る	—
番号入力	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10 決定 取消し	DVD-VR DVD-A DVD-V VCD CD 例)12:[≧10]→[1]→[2] WMA MP3 JPEG 例)123:[1]→[2]→[3]→[決定] ● [取消し]を押して入力を取消す。
メニュー画面	トップメニュー 再生ナビ	トップメニュー DVD-A DVD-V 再生ナビ DVD-VR (➜23ページ) 再生コンテンツ メニュー WMA MP3 JPEG (➜22ページ)
	メニュー プレイリスト	メニュー DVD-V プレイリスト DVD-VR (➜23ページ) ナビメニュー WMA MP3 JPEG (➜22ページ)
	リターン 戻る	VCD (プレイバックコントロール付き) メニューに戻る
本体表示	FLディスプレイ	DVD-VR DVD-A DVD-V WMA MP3 経過時間表示 ⟷ 情報画面(例、DVD-VR 番組番号を表示) JPEG ● スライドショー(➜25ページ)が"入"のときの表示:スライド ⟷ コンテンツ番号 ● スライドショーが"切"のときの表示: 再生 ⟷ コンテンツ番号

使ってみよう

便利な機能

再生状況を確認する（クイック OSD）

ディスクの再生状況を表示するには

クイックOSD を１回押す

例：DVD-V

再生中の番号　経過時間

タイトル 1　チャプター 4　時間 0:41:23

再生状態

プログラム再生

再生モード　現在の再生位置

ディスクの詳細情報を表示するには

クイックOSD を2回押す

例：DVD-V

■ 詳細情報 - DVD-Video

ⓐ	音声	1 英語　DTS 3/2.1ch
ⓑ	字幕	1 日本語
ⓒ	アングル	1/1
ⓓ	アスペクト	16:9
ⓔ	タイトル総時間	2:07:51

ⓐ音声（➜下記）
ⓑ字幕（➜下記）
ⓒアングルの切り換え（➜25ページ）
ⓓディスクに記録された映像の縦横比
ⓔ再生中のタイトルの総再生時間

- 画面を消すには、[リターン・戻る]を押す。

音声

動画に働きます

DVD-A DVD-V
（音声が複数記録されているディスク）
DVD-VR VCD

音声 を押して切り換える

機能選択
音声　1

- DVD-VR VCD "L"（左）、"R"（右）、"LR"（左右）のいずれかを選べます。
- DVD-V （カラオケディスク）[◀▶]でボーカルの入／切ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

音声属性の表示

LPCM/PPCM/ⅮⅮDigital/DTS/MP3/MPEG：信号タイプ
kHz：サンプリング周波数
bit：ビット数
ch：チャンネル数
GUI画面では下記のように表示されます。

（例）

3 / 2 .1

.1：LFE※あり（ない場合は、表示されません）

0：サラウンド信号なし
1：サラウンド信号（モノラル）あり
2：サラウンド信号（ステレオ）あり

1：センターのみ
2：フロント（L／R）のみ
3：センター+フロント（L／R）

※ Low Frequency Effects（ロー フリケンシー エフェクツ）の略。低域強調チャンネルのこと。

字幕

字幕が記録されたディスクに働きます。

DVD-VR DVD-V

字幕 を押して切り換える

- 字幕の入/切は[◀▶]を押す。
- +R/+RWでは、字幕が記録されていないディスクでも字幕番号が表示されることがあります。
- DVD-VR （字幕の入／切情報を含むディスク）
  –字幕の入/切のみ切り換えることができます。
  –当社製DVDレコーダーは字幕の入／切情報を記録できません。

早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生

DVD-VR DVD-V DVD-A（動画部のみ）

映画のセリフなどを、早聞きしたり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときに、再生速度を微調節できます。

[再生速度] を再生中に押して項目を選ぶ

機能選択
再生速度 ◀×1.0▶
✓ ノーマル
早見/早聞き
遅見/遅聞き

微調整するには

画面表示中に[◀▶] を押す。
0.6倍～1.4倍(0.1倍刻み)

● [▶再生]を押すと、通常再生に戻ります。
● 速度調節中は
 – ドルビープロロジックII(➔29ページ)、サウンドエンハンスメント(➔27ページ)は働きません。
 – 音声出力は、2ch(ステレオ)に切り換わります。
 – サンプリング周波数(➔36ページ)が96kHz の場合、48kHzになります。
● ディスクの記録状態によっては、働かない場合があります。

映像を拡大する（ズーム）

DVD-VR DVD-V VCD DVD-A（動画部のみ）

いろいろな横縦比の映像を拡大して、お使いのテレビ画面サイズに近づけます。

[ズーム] を押して切り換える（ぴったりズーム）

機能選択
ぴったりズーム ◀×1.26▶
✓ オート
4:3 標準
ヨーロピアンビスタ
16:9 標準
アメリカンビスタ
シネマスコープ 1
シネマスコープ 2

● ディスクによっては、表示されないものもあります。

微調整するには(任意ズーム)

画面表示中に[◀▶] を押す。(押したままにすると速く変わります。)
1.00倍～1.60倍(0.01倍刻み)／1.60倍～2.00倍(0.02倍刻み)

設定した時間に本機の電源を切る（スリープ）

[スリープ] を押す

SLEEP 30

● 押すたびに表示窓の設定時間(分単位)が変わります。

SLEEP 30 → SLEEP 60 → SLEEP 90 → SLEEP 120 → OFF(切) → SLEEP 30

スリープ機能を解除するには

[スリープ]を押して、“OFF”を選ぶ。

残り時間を確認するには

[スリープ]を押すと、表示窓に残り時間が表示されます。

設定を変えるには

[スリープ]を押して、設定時間を選びなおす。

音声を一時的に消す（消音）

[消音] を再生中に押す

MUTING

● 消音中、表示窓に“MUTING”が点滅します。

消音を解除するには

[消音]をもう一度押すか、本機の音量つまみ(➔16ページ)をいったん“VOL 0”に戻し、そのあと音量を上げます。

● 本機の電源を切ると、消音機能は解除されます。

いろいろな再生方法

○○お知らせ○○

- DVD-A ボーナスグループ付きディスクをプログラムやランダム再生するとき、暗証番号(ジャケットなどに記載)を入力することでボーナスグループを再生することができます。

<table>
<tr><td>リピート再生
経過時間が表示されるディスクのみ
JPEG 経過時間が表示されなくても働きます</td><td>

再生中に［リピート］を押して項目を選ぶ

例：DVD-V

機能選択
リピート　切　／ ✓切　チャプター　タイトル

DVD-VR：プログラム → オール → 切
(プレイリスト再生中は、シーン →プレイリスト → 切)
DVD-A：トラック → グループ※ → 切
DVD-V：チャプター → タイトル※ → 切
VCD CD：トラック → オール → 切
WMA MP3：コンテンツ → グループ※ → 切
JPEG：グループ※ → 切
※ オールグループ再生、プログラム、ランダム再生中は、"オール"と表示されます。
</td></tr>
<tr><td>プログラム再生
DVD-VR 以外
(最大32項目)</td><td>

● HighMAT CDをプログラム再生するときは、"その他のメニュー"で"データディスクとして再生"を選んでください。(➔27ページ)

1 ［再生モード］を停止中に押して切り換える

例：DVD-V

2 ［1］〜［≧10］ 押して項目を選ぶ
(➔17ページ、番号入力)
続けて選ぶときは、この操作を繰り返してください。

3 ［再生 ▶］を押す

●画面を消すには、停止中に**[再生モード]**を数回押す。

すべての項目(ディスク／タイトル／グループ内の全項目)を選ぶには

"トラック"、**"チャプター"**または**"コンテンツ"**を選択中に、**[▲▼]**で"ALL"を選び、**[決定]**を押す。

例：DVD-V　チャプター　時間　: ALL

予約を変更するには

[▲▼]で変更したい項目を選び、手順2を行う。

予約を取り消すには

[▲▼]で取り消したい項目を選び、**[取消し]**を押す。(**[▲▼◀▶]**で**"クリア"**を選び、**[決定]**を押しても取り消せます。)

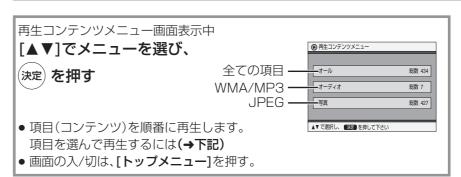
予約を全て取り消すには

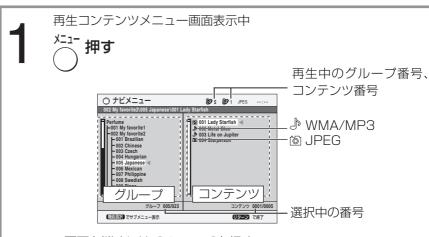
[▲▼◀▶]で**"オールクリア"**を選び、**[決定]**を押す。(電源を切るか、トレイを開ける、または"DVD/CD"以外の音源を選んでも取り消されます。)
</td></tr>
</table>

ランダム再生 DVD-VR 以外	● HighMAT CDをランダム再生するときは、"その他のメニュー"で"データディスクとして再生"を選んでください。(➔27ページ) **1 再生モード を停止中に押して切り換える** 例：DVD-V ランダム再生 タイトル番号を選んで下さい。 タイトル 1 ▲▼ 0 ~ 9 で選択　再生 で開始 **2 DVD-A DVD-V WMA MP3 JPEG** **1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10 押して項目を選ぶ (➔17ページ、番号入力)** DVD-A ● すべてのグループを選ぶには、[◀▶]で"オール"を選び、**[決定]**を押す。 ● 選んだグループを取消すには、取消したいグループ番号を**数字ボタン**で選びます。 **3 再生 ▶ を押す** ●画面を消すには、停止中に**[再生モード]**を数回押す。
グループを選んで再生 DVD-A WMA MP3 JPEG	WMA、MP3、JPEGディスク内のフォルダは"グループ"として扱います。 機能選択 グループサーチ ⇕ 1 **1 グループ を停止中に押す** **2 [▲▼] グループ番号を選び、決定 を押す** ● 数字ボタンでも選べます(➔17ページ、番号入力)。
すべてのグループを再生する(オールグループ再生) DVD-A	**1 再生モード を停止中に押す** オールグループ再生 再生ボタンでオールグループ再生スタート **2 再生 ▶ を押す**

ポータブルオーディオ機器(別売)を本機のスピーカーで楽しむ	本機前面の外部入力端子にポータブルオーディオ機器をつなぎ、本機のスピーカーで音声を楽しむことができます。 **準備** ポータブルオーディオ機器にイコライザー機能がある場合は、機能を切ってから接続してください。 **1 本機の音量を下げ、ポータブルオーディオ機器を接続する** プラグタイプ: ∅3.5 mm, ステレオミニプラグ あらかじめ音量を下げておいてください。 **2 外部入力 を押しEXT-INを選ぶ** ● 本機の**[入力切換]**でも選べます。 押すたびに DVD/CD → TV → D-IN → EXT-IN ↑_______________________________| EXT-IN **3 ポータブルオーディオ機器の音量を調節する** ● 通常聞いている音量にしてください。 **4 ＋ 音量 − で本機の音量を調節する** ● 本機の**[音量]**つまみでも調節できます。 ● SFC(サウンド フィールド コントロール)の"MOVIE"、"SPORT"、"MUSIC"のいずれかを選ぶと、5.1chで音声が楽しめます。

ナビゲーション画面を使って再生する

ナビゲーション画面を使うと、簡単に再生したいコンテンツ、プログラム、プレイリストを探すことができます。

準備

以下の場合、"その他のメニュー"で"データディスクとして再生"を選んでください(➜27ページ)。

- HighMAT規格で記録されたディスクをHighMAT機能を使わずに再生する
- DVD-VR と他のコンテンツ(JPEG など)が混在するDVD-RAM内の MP3 JPEG を再生する

WMA/MP3/JPEGディスクの再生

再生コンテンツメニュー画面表示中

[▲▼]でメニューを選び、

(決定) を押す

- 項目(コンテンツ)を順番に再生します。
  項目を選んで再生するには(➜下記)
- 画面の入/切は、[トップメニュー]を押す。

項目を選んで再生する(ナビメニュー)

1 再生コンテンツメニュー画面表示中

メニュー **押す**

- 画面を消すには、[メニュー]を押す。

2 **[◀]を押し、[▲▼]でグループを選び、(決定) を押す**

3 **グループ内のコンテンツを順番に再生するには**

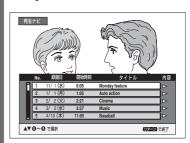
(決定) 押す

コンテンツを選んで再生するには

[▲▼]でコンテンツを選び、(決定) を押す

- **JPEG画像を見ながら、WMA/MP3を楽しむには、**JPEGコンテンツを選択した後、WMA/MP3コンテンツを選ぶ。(逆の順序では、できません。)

サブメニューを使うと、表示される項目を変えたり、再生したいコンテンツを検索することができます。(➜23ページ)

サブメニューを使う	ナビメニュー(➜22ページ)表示中 1 を押す サブメニューが表示されます。 ●表示される項目はディスクにより異なります。 マルチ — グループとコンテンツを同時に表示 リスト — コンテンツを表示 ツリー — グループを表示 サムネイル — サムネイル（画像の一覧）画面を表示 JPEG 次グループ — 次のグループへ進む 前グループ — 前のグループへ戻る オール — 全ての項目を表示 オーディオ — WMA／MP3 コンテンツのみ表示 写真 — JPEG コンテンツのみ表示 ヘルプ表示 — 操作ガイドと再生状況表示の切り換え 検索 — タイトルの検索（➜ 下記） 2 [▲▼]で項目を選び、(決定) を押す **タイトルの検索** ローマ字入力すると、その語句を含むタイトルを検索します。(大／小文字は区別されません) ● グループ名を検索するときは、[◀▶]を押してナビメニュー画面内のカーソルを“グループ”側に、コンテンツ名を検索するときは“コンテンツ”側に置いてください。(ナビメニュー➜22ページ) サブメニュー(➜上記)表示中 1 [▲▼] で“検索”を選び (決定) を押す ＊ A 検索 2 [▲▼]で文字を選び (決定) を押す ● 続けて入力するにはこの手順を繰り返す。 ● [◀◀ ▶▶]で「A、E、I、O、U」にスキップします。 ● 確定した文字を消すには[◀]を押す。 ● 入力した文字で始まるタイトルを検索するには、[◀]で“＊”を消してから手順2を行う。 3 [▶] で“検索”を選び、(決定) を押す 検索結果が画面に表示されます。 4 [▲▼]でグループまたはコンテンツを選び、(決定) を押す

プログラムやプレイリストの再生 DVD-VR

●タイトルはディスクに記録されている場合のみ表示されます。
●本機では、タイトルやプレイリストの編集はできません。

番組を選んで再生 (再生ナビ)	1 を押す ● 画面を消すには[再生ナビ]を押す。 2 [▲▼]で番組を選び、(決定) を押す。 ● 数字ボタンでも選べます(➜17ページ、番号入力)。 ● [▶] を押すとプログラム内容を確認できます。
お好みのシーンを再生 (プレイリスト) ※プレイリストが作成されたディスクのみ	1 ◯プレイリスト 押す ● 画面を消すには[プレイリスト]を押す。 2 [▲▼]でプレイリストを選ぶ ● 数字ボタンでも選べます(➜17ページ、番号入力)。 3 **プレイリストを再生するには** (決定) を押す **シーンを再生するには** ① [▶] を押す ② [▲▼]で“シーン一覧”を選び、(決定)を押す ● “内容確認”を選ぶとプログラム内容を確認できます。 ③ [▲▼◀▶]でシーンを選び、(決定) を押す

使ってみよう

メニュー画面を使ったCDの再生 CD

タイトルを選んで再生(CDテキスト)

CDテキストではタイトルも表示されます。

1 [トップメニュー/再生ナビ] または [メニュー] を押す

CDテキスト 1/23 72:01
ディスクタイトル : All By Artist
ディスク アーティスト : Pink Island
トラックタイトル : Long John Platinum
トラック アーティスト : SHIPWRECKED

1. Ashley at Prom
2. City Penguin
3. Formura one
4. Soccer
5. Baseball
6. Neanderthal
7. Cartoons
8. Trilobites
9. White Dwarf
10. Discovery
11. HighWay

▲▼で選択し、決定を押して下さい　リターンで終了

2 [▲▼]で曲を選び、(決定) を押す

- 画面を消すには、[**トップメニュー**]または[**メニュー**]を押す。

HighMAT™ CDの再生 WMA MP3 JPEG

メニュー画面から選んで再生する

メニュー画面表示中

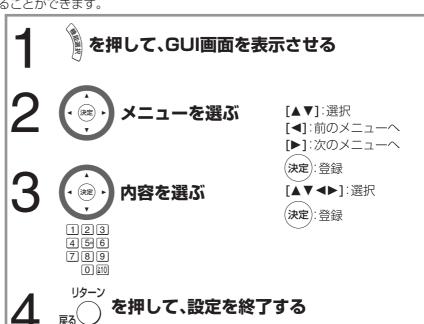
[▲▼◀▶]で内容を選び、(決定) を押す

メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。

プレイリスト：
再生が始まります。

- 再生中にメニュー画面に戻るには、[**トップメニュー**]を押してから[**リターン・戻る**]を数回押す。
- ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには、メニュー画面表示中に[**機能選択**]を押す。
- 画面の入/切は[**■ 停止**]を押す。

リスト画面から選んで再生する

1 [メニュー] を再生中に押す

2 [◀]を押した後、[▲▼]でリストを切り換える

3 [▶]を押した後、[▲▼]で項目を選び、(決定) を押す

- 画面を消すには、[**メニュー**]を押す。

GUI画面を使って操作する

ディスクや本機の情報などを表示する画面表示をGUI(Graphical User Interface)画面とよびます。
画面を見ながら再生方法や画質、音声効果を設定することができます。

表示される項目はディスクにより異なります。

メニュー

プログラム グループ タイトル チャプター トラック プレイリスト コンテンツ	**項目を指定して再生** ● [▲▼]で項目を選び、[決定]を押す ● [▲▼]を押したままにすると速く変わります。
時間 ※+R/+RWには働きません。	**時間を指定して飛び越す※（再生専用タイムワープ）** 1. [決定]を2回押して、"タイムワープ" を表示させる 2. [▲▼]を押して時間を選び、[決定]を押す ● [▲▼]を押したままにすると速く変わります。 **時間指定再生※(タイムサーチ)** 例)1時間46分50秒から再生 [1] → [4] → [6] → [5] → [0] → [決定] **経過時間／残り時間表示切り換え**
音声	(➜18ページ) WMA MP3 ビットレート／サンプリング周波数 (➜36ページ) 表示
静止画	静止画を切り換える
サムネイル	サムネイル(画像の一覧)画面表示
字幕	(➜18ページ)
マーカー (VR)	**DVDレコーダーで付けたマークを呼び出す** [▲▼]を押して[決定]を押す
アングル	(複数のアングルが記録されているディスクのみ) **アングルを切り換える**
画像回転	画像の回転
スライドショー	**入 ⟷ 切** 間隔を"1 速い"～"5 遅い"の間で変更できます。 ● 再生位置によっては、スキップおよび画像の回転が正常に働かない場合があります。
その他の設定	(➜26ページ)

(つづく)

その他の設定

再生速度	(➜19ページ、早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生)

再生メニュー

経過時間表示の出るディスクのみ。(➜17ページ、本体表示)
(ただし、JPEGのリピートとマーカーはできます。)

リピート	(➜20ページ、リピート再生)
A-Bリピート	**お好みの2点間を繰り返し再生(A-Bリピート再生)** 始点/終点で[決定]を押す。 取り消すには、さらに[決定]を押す。 ● DVD-VR (静止画部分):働きません。
マーカー (DVD-VR には働きません。)	**お好みの位置を記憶 (5個まで)** [決定]を押してから下記の操作を行う。 **マークを付けるには** → 付けたい位置で[決定]を押す。 **他にマークを付けるには** → [◀▶]で"＊"を選び、 [決定]を押す。 **マークを呼び出すには** → [◀▶]でマークを選び、 [決定]を押す。 **マークを取り消すには** → [◀▶]でマークを選び、 [取消し]を押す。 ● プログラム、ランダム再生中は働きません。 ● 本機で付けたマーカーは、電源を切るか、トレイを開ける、または"DVD/CD"以外の音源を選ぶと取り消されます。
アドバンストディスクレビュー DVD-VR DVD-V (+R/+RWには働きません) (通常再生時のみ)	各タイトル／プログラムの先頭を、数秒間ずつ順に再生します。見たいタイトル／プログラムを探すのに便利です。 タイトル 1　チャプター 4　時間 0:00:05 見たいタイトル／プログラムを見つけたら[▶再生]を押す ● 各タイトル/プログラムを10分刻みで数秒ずつ再生するには、"アドバンストディスクレビュー"で"インターバルモード"を選択してください。(➜31ページ、"ディスク") ● 再生位置により、働かないことがあります。 ● DVD-VR 静止画およびプレイリスト再生中は働きません。 ● 画面を消すには、[リターン・戻る]を押す。

画質メニュー

ピクチャーモード	**画質を選ぶ** **ノーマル**: 通常画像 **シネマ1**: 映画館で見ているようなしっとり感 **シネマ2**: 昔の映画などをくっきり **アニメ**: アニメ向き **ダイナミック**: コントラストを強調した、躍動感あふれる映像 **ユーザー**: (➜右記、詳細画質設定)
ピクチャーモード	**詳細画質設定**(「ピクチャーモード」で"ユーザー"を選んだときのみ) **コントラスト**: 映像の白い部分と黒い部分に強弱をつけます (−7〜+7) **ブライトネス**: 画面の明るさを調節します (0〜+15) **シャープネス**: 水平方向の解像度を調節します (−7〜+7) **カラー**: 色の濃さを調節します (−7〜+7) **ガンマ**: 暗く見づらい部分の明るさを調節します (0〜+5) **デプスエンハンサー**: 背景部分に現れるノイズを除去し、奥行き感のある映像を楽しめます (0〜+4)
ビデオ出力モード	**HDMI ケーブルで接続し、"映像出力"(➜32ページ、"HDMI")を"入"に設定したとき** 記録された映像をハイビジョン映像に変換して出力できます(接続した機器によって画質が異なります)。お好みの画質を選んでください。 **525p**(プログレッシブ) **750p**(プログレッシブ) **1125i**(インターレース) ● 接続した機器が対応している項目には、画面上に"＊"が表示されます。"＊"のついていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、[取消し]を映像が正しく表示されるまで押したままにしてください。"525p"に設定が戻ります。 ● コンポーネント端子、D端子からは525pが出力されます。 **HDMIケーブルで接続し、"映像出力"(➜32ページ、"HDMI")を"切"に設定したとき、または他の接続時** **525i**(インターレース) **525p**(プログレッシブ) ● "525p"を選んで、確認画面が表示された場合は、プログレッシブ対応テレビに接続しているときのみ"はい"を選んでください。
変換モード	上記で"525p"、"750p"、"1125i"を選んだときのみ **プログレッシブ映像・ハイビジョン映像の出力を選ぶ** ● 電源を切るか、トレイを開ける、または"DVD/CD"以外の音源を選ぶと、設定がオート1に戻ります。 **オート1**(標準): フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します。 **オート2**: オート1に加えて、フレーム数の異なるフィルム素材も自動で識別し、適切に変換します。 **ビデオ**: オート1またはオート2でブレが生じるとき

(つづく)

その他の設定(つづき)

画質メニュー(つづき)

HDピクチャーエンハンサー	**HDMIケーブルで接続し、"映像出力"(➜32ページ、"HDMI")を"入"にしたとき** "750p"や"1125i"の映像を鮮明にする OFF(切) ⟷ 1 ⟷ 2 ⟷ 3
HDMIカラースペース	**HDMIケーブルで接続し、"映像出力"(➜32ページ、"HDMI")を"入"にしたとき** 接続した機器によって画質が異なります。お好みの画質を選んでください。 RGB YCbCr (4:4:4) YCbCr (4:2:2) ● 接続した機器が対応していない項目は、表示されません。 ● "RGB"を選んだときのみ"RGB出力レンジ"(➜32ページ、"HDMI")の設定が有効になります。

音声メニュー

ドルビープロロジックII	(➜29ページ)
シネマボイス	**映画のセリフを聞き取りやすくする** DVD-V (ドルビーデジタル、DTS、3チャンネル以上でセンターチャンネルにセリフが入っているディスク) 入 ⟷ 切
サウンドエンハンスメント	**アナログのまろやかな音質に近づける** DVD-VR DVD-V (48 kHzで記録されたディスク) WMA MP3 (8 kHz、16 kHz、32 kHz以外で記録されたディスク) VCD CD 切 ⟷ 入 ● MP3 DVD-RAMおよびDVD-R/RWに記録されたMP3には働きません。 ● ディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。

表示メニュー

情報表示	JPEG 切 ⟷ 入
字幕位置	0～−60 (2段階ずつ)
字幕明るさ	オート (明るさを自動調節する)、0～−7
4:3 アスペクト	**16:9テレビへの4:3映像の表示のしかたを選ぶ** **ノーマル**: テレビの画面幅に合わせて拡大 **オート**: 通常は"シュリンク"に、レターボックスの映像(上下に帯のある映像)は"ズーム"に、自動的に切り換え **シュリンク**: テレビ画面中央に4:3の画面比で映す **ズーム**: 4:3の画面比で拡大
ぴったりズーム	(➜19ページ、映像を拡大する)
任意ズーム	(➜19ページ、映像を拡大する)
ビットレート表示	**動画ディスクに働きます** 切 ⟷ 入
GUIシースルー	**GUIメニューの背景を半透明にする** 切/入/オート (映像が出ているとき、半透明にする)
GUI明るさ	−3～+3
HDMI状態	HDMIの状態を確認する(➜下記)
クイックOSD	(➜18ページ、再生状況を確認する)

その他のメニュー

初期設定	(➜31ページ)
DVD-Videoとして再生 あるいは DVD-Audioとして再生	DVDオーディオディスク内のDVDビデオコンテンツを再生するには、"DVD-Videoとして再生"を選ぶ
DVD-VRとして再生 HighMATとして再生 あるいは データディスクとして再生	以下の場合、"データディスクとして再生"を選んでください。 – DVD-VR と他のコンテンツ (JPEG など)が混在するDVD-RAM内の MP3 JPEG を再生する – HighMAT規格で記録されたディスクをHighMAT機能を使わずに再生する

■HDMI状態を確認

接続状態

■ HDMI状態 – 正常接続中です。

HDMI情報

音声ストリーム	PCM	➜18ページ、音声
最大チャンネル数	2ch	接続機器の最大チャンネル数を表示
ビデオフォーマット	525p/750p/1125i	➜26ページ、ビデオ出力モード
カラースペース	YCbCr(4:4:4)/YCbCr(4:2:2)/RGB	➜上記、HDMIカラースペース

● 出力可能な項目が表示されます。
● "音声ストリーム"、"ビデオフォーマット"、"カラースペース"では、現在出力されている項目にアンダーラインが表示されます。
● "音声出力"(**➜32ページ、"HDMI"**)が"切"に設定されているときは"音声ストリーム"、"最大チャンネル数"には"---"が表示されます。

使ってみよう

シアターサウンドを楽しむ

本機では、ドルビーデジタルやDTSなど5.1chで記録されたディスクを自動的に5.1chのサラウンド音声で楽しむことができます。BS/CS デジタル放送などの 5.1ch 音声も、迫力あるサラウンド音声で楽しむことができます。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力をBS/CSチューナーが接続されている入力に切り換える(「ビデオ」など)
- BSやCSチューナーが本機のデジタル音声入力(光)端子に接続されているか確認する(➜9ページ)

BS/CSデジタル放送などを5.1chで楽しむ

を押して、本体表示窓で“D-IN”(デジタル入力)を選ぶ

- 本機では[入力切換]で選びます。

D-IN

音声が途切れる場合は

[機能選択]を押し続ける
押し続けるたびに
PFIX OFF(工場出荷時) ⟷ PFIX ON

PFIX OFF:入力される音声信号のフォーマットを自動判別して出力します。通常はこの設定を選びます。

PFIX ON:PCMの音声だけを出力します。音声が途切れる場合に、この設定を選びます。

- 電源を切る、“D-IN”(デジタル入力)以外の音源を選ぶと、設定は工場出荷時の設定に戻ります。

二ヶ国語放送の音声を切り換えるには

[再生モード]を押し続ける
押し続けるたびに
“AUDIO ST”(主音声と副音声) →“AUDIO L”(主音声) →“AUDIO R”(副音声)

- 音声切換は、AACのデュアルモノ音声にのみ働きます。

ダイナミックレンジコンプレッション

最小音と最大音の音量差を小さくし、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくします。
[サブウーハーレベル]を押し続ける
押し続けるたびに
“DRC ON” (入) ⟷ “DRC OFF” (切) (工場出荷時)

■もっとシアターサウンドを楽しむには

サラウンド音声を楽しみながら音響効果を変えたり、ステレオ音声(2ch)をサラウンド音声に変えたりすることもできます。(➜29 ページ)

お知らせ

- “D-IN”(デジタル入力)が選ばれているとき、HDMI接続は効果がありません。

機能	操作
好みの音質で楽しむ [SFC(サウンドフィールドコントロール)]	SFC を押す 押すたびに FLAT → MOVIE → SPORT → MUSIC → HEAVY → CLEAR → SOFT → FLAT FLAT(工場出荷時):SFC切(音場効果はありません) MOVIE:映画を観るとき SPORT:競技場にいるかのような効果を出すとき MUSIC:ステレオ音声にサラウンド効果を加えるとき HEAVY:ロックを聴くとき CLEAR:高音部を鮮明にするとき SOFT:BGM調のソフトな音にするとき お知らせ ● 現在の設定を確認するには、[SFC]を押す ● MOVIE、SPORT、MUSICを選ぶと、2chの音声をサラウンドで楽しめます。 ● ドルビープロロジックIIが働いているとき、またはマルチチャンネルの音源を再生しているときはMOVIE、SPORT、MUSICは選べません。 ● よりよいサラウンド効果を得るためには(スピーカーレベル➜30ページ)
ステレオ音声をサラウンドで楽しむ [DDPLII (ドルビープロロジックII)]	DDPLII を押す (表示:DDPLII MOVIE) 押すたびに MOVIE → MUSIC → OFF → MOVIE MOVIE:ドルビーサラウンドで記録された映画ソフトを再生するとき MUSIC:ステレオ音声を再生するとき OFF:切 お知らせ ● “DVD/CD”が選ばれているときに働きます。(➜16ページ) ● マルチチャンネルの音源、またはHDMI接続で音声を楽しんでいる場合は働きません。
低音を強調する(サブウーハーレベル) 再生する音源の種類に合わせて、本機が最適な設定を選びます。	サブウーハー レベル を押す (表示:SUB W 4) ● DVD-VR DVD-V SUB W4(工場出荷時) → SUB W1 → SUB W2 → SUB W3 → SUB W4 ● 他の音源が選択されているとき SUB W2(工場出荷時) → SUB W3 → SUB W4 → SUB W1 → SUB W2 お知らせ ● 現在の設定を確認するには:[サブウーハーレベル]を押す ● 本機が自動的に設定を記憶し、同じ種類の音源を再生するたびにその設定が呼び出されます。ただし、SFC (MOVIE、SPORT、MUSIC)を働かせると、設定は呼び出されず、以下のように固定されます。 – MOVIE:SUB W 4 – SPORT:SUB W 2 – MUSIC:SUB W 1
セリフを聞き取りやすくする(センターフォーカス) センターチャンネルに音声が収録されているディスクに働きます。	センターフォーカス を押す (表示:C FOCUS) 押すたびに C FOCUS ON(入) ↔ C FOCUS OFF(切) お知らせ ● ドルビープロロジックIIが働いているときは、効果が弱い場合があります。 ● SFC(MOVIE、SPORT、MUSIC)が働いているときは、効果がありません。

お知らせ

● ヘッドホンを接続している場合や、ディスクに記録されている音声フォーマットの種類によっては、音場効果が制限される場合があります。
● 音質の劣化を感じたら、機能のご使用をおやめください。

使ってみよう

シアターサウンドを楽しむ(つづき)

スピーカーの出力を調整する(スピーカーレベル)

よりよいサラウンド効果を得るために、お部屋に合わせて各スピーカーの出力レベルを調整します。

準備

[DVD プレーヤー] を押す

停止中にスピーカーの音量を調整する

1 停止中、

[テスト] を押す

- テスト信号が各スピーカーから出力されます。出力を止めるには、もう一度ボタンを押してください。

L → C → R → RS → LS
↑________________|

L:フロント(左)
C:センター
R:フロント(右)
RS:サラウンド(右)
LS:サラウンド(左)

- SW(サブウーハー)からは出力されません。

2 **[+ 音量 −] ボタンを押し、通常聞く音量にする**

3 **[▲▼]で各スピーカーの出力レベルを調整する**

- フロントスピーカーの音量と同じ音量になるように調整します。
C、RS、LS:−6dB～+6dB

再生中に、スピーカーの音量を調整する

[マルチチャンネルの音声を再生する場合や、ドルビープロロジックIIまたはSFC (MOVIE、SPORT、MUSIC)が「入」の場合に働きます。]

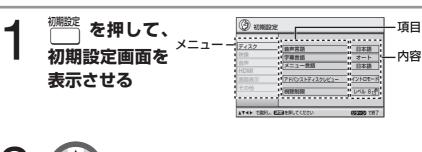
1 **[チャンネル切換] を押す**

押すたびに

L → C → R → RS → LS → SW
↑______________________|

SW:サブウーハー

- ディスクにサブウーハーチャンネルが記録されている場合のみ、SWを調整できます。
- ドルビープロロジックIIが「入」の場合、"SW"は調整できません。
- SFC(MOVIE、SPORT、MUSIC)が働いているときは、サラウンドチャンネルとして"S"が表示されます。この場合、[▲▼]で左右のサラウンドスピーカーの音量を同時に調整できます。
S:−6dB～+6dB

2 **[▲▼]で各スピーカーの音量を調整する**

C、RS、LS、SW:−6dB～+6dB
(L、Rはバランスのみ調整できます)

- フロントスピーカーのバランスを調整するには、"L"または"R"を選択中に、[◀, ▶]を押してください。

本機の設定を変える(初期設定一覧)

1 初期設定 を押して、初期設定画面を表示させる

2 メニューを選び、[▶]を押す

3 項目を選び、決定 を押す

4 内容を選び、決定 を押す

5 リターン 戻る を押して、設定を終了する

- 31～33ページをご覧になり、必要に応じて変更してください。
- 日本語 のようにアミのかかった項目は、お買い上げ時の設定です。
- 変更した設定は電源を切っても保持されます。

使ってみよう

ディスク

項目	内容
音声言語	● 日本語 ● 英語 ● オリジナル(ディスクの最優先言語) ● その他＊＊＊＊※
字幕言語	● オート (“音声言語”で選んだ言語で再生されなかったとき、字幕でその言語を表示) ● 日本語 ● 英語 ● その他＊＊＊＊※
メニュー言語	● 日本語 ● 英語 ● その他＊＊＊＊※
アドバンスト ディスクレビュー (➜26ページ)	● イントロモード：各タイトル／プログラムの先頭を数秒間ずつ再生 ● インターバルモード：各タイトル／プログラムを10分刻みで数秒ずつ再生
視聴制限 DVDビデオの視聴が制限できます。	● レベル8：すべて視聴可 ● レベル1～7：記録のレベルに応じて視聴不可 ● レベル0：すべて視聴不可 レベルを設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。画面の指示に従ってください。 **暗証番号は忘れないでください。** ● 視聴制限を超えるDVDビデオを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

映像

項目	内容
TVアスペクト テレビサイズに合わせた映像の表示方法が選べます。(➜36ページ、パン＆スキャン/レターボックス)	● 4:3パン＆スキャン：標準サイズのテレビ 16:9の映像は左右の切れた映像で表示(パン＆スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。) ● 4:3レターボックス：標準サイズのテレビ 16:9の映像は上下に帯のある映像で表示 ● 16:9：ワイドサイズのテレビ
接続するTV テレビの種類に合わせて設定します。	● 標準(ブラウン管テレビ) ● 3管式プロジェクター ● 液晶テレビ／プロジェクター ● プロジェクションテレビ ● プラズマテレビ
TVディレイ プラズマテレビに接続している場合、映像が音声より遅く感じるときに調節します。	● 0ms ● 20ms ● 40ms ● 60ms ● 80ms ● 100ms
スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。	● オート ● フィールド：画像のブレが発生するとき ● フレーム：小さい文字や細かい絵柄が見えにくいとき

※数字ボタンで言語番号(➜32ページ)を入力します。

本機の設定を変える(初期設定一覧)(つづき)

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮 (ドルビーデジタルのみ) 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	● 入　● 切
スピーカー設定 ディレイタイム(➜33ページ)を調整することで、理想的な音場をつくります。	● センター: 0.0/1.0/2.0/3.0/4.0/5.0 ms ● サラウンド: 0.0/5.0/10.0/15.0 ms

HDMI

RGB出力レンジ HDMIカラースペース(画質メニュー➜27ページ)で"RGB"を選んだときのみ設定が有効になります。	● **スタンダード** ● **エンハンス**: 映像の黒白が鮮明でないとき
映像出力	● **入**:"HDMI映像･音声出力"端子から映像を出力するとき ● **切**:"D端子(D1/D2)"から映像を出力するとき["ビデオ出力モード(➜26ページ)"の設定に合わせて映像が出力されます。]
音声出力	● **入**:"HDMI映像･音声出力"端子から音声を出力するとき(接続したHDMI対応機器によっては、本機の音声効果が働かない場合があります。) ● **切**:"HDMI映像･音声出力"端子から音声を出力しないとき

画面表示

画面メニュー言語 初期設定画面、操作画面の言語を選びます。	● 日本語　● English(英語)
画面メッセージ 画面メッセージを表示する、しないを選びます。	● 入　● 切

その他

表示窓ディマー 本体表示窓の明るさを調節します。	● 明　● 暗 ● **オート**: 再生中は暗くなり、操作をすると一時的に明るくなります。
クイックセットアップ 本機の基本的な設定を、画面上での対話形式で行います。	● **する**:以下の設定を行います。 画面メニュー言語／接続するTV／TVアスペクト クイックセットアップで"画面メニュー言語"を変えると、"メニュー言語"(**➜31ページ**)も変わります。 ● **しない**
設定の初期化 本機をお買い上げ時の状態に戻します。	● **する**:視聴制限(**➜31ページ**)を設定しているときは、暗証番号を入力し、**[決定]**を押してください。本体表示窓の"INIT"表示が消えてから、電源を入れ直してください。 ● **しない**

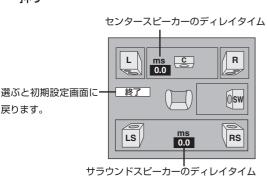
言語番号一覧

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国(朝鮮)語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール(スコットランド)	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア(白ロシア)	6669
ベンガル(バングラ)	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ(マレー)	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア(レット)	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

スピーカーの配置に合わせて理想の音場をつくる(ディレイタイム)

5.1ch音声を楽しむには、全てのスピーカー(サブウーハーは除く)を下記のように円上に置くのが理想です。センタースピーカーやサラウンドスピーカーを下記の理想的な位置に置くことができない場合は、ディレイタイムを設定すると、理想の音場をつくることができます。マルチチャンネルのドルビーデジタル音声やドルビープロロジックII(➔29ページ)の音声を聞くときなどに効果があります。

:実際のスピーカーの位置

:理想的なスピーカーの位置

ⓐ ⓑ ⓒ :各スピーカーまでの距離

この円上にスピーカーを配置するのが理想です。

準備

1 [初期設定]を押し、初期設定画面を表示させる
2 [▲▼]で “音声”を選び、[▶]を押す
3 [▲▼]で “スピーカー設定”を選び、[決定]を押す

1 ディレイタイムを設定するスピーカーを選び、(決定)を押す

2 ディレイタイムを設定する

センタースピーカーのディレイタイム

- フロントスピーカーまでの距離(ⓒ)がセンタースピーカーまでの距離(ⓐ)より短い場合:**0 msに設定**
- フロントスピーカーまでの距離(ⓒ)がセンタースピーカーまでの距離(ⓐ)より長い場合:**下記の設定**

距離の差	設定値
約30 cm	1.0 ms
約60 cm	2.0 ms
約90 cm	3.0 ms
約120 cm	4.0 ms
約150 cm	5.0 ms

サラウンドスピーカーのディレイタイム

- フロントスピーカーまでの距離(ⓒ)がサラウンドスピーカーまでの距離(ⓑ)より短い場合:**0 msに設定**
- フロントスピーカーまでの距離(ⓒ)がサラウンドスピーカーまでの距離(ⓑ)より長い場合:**下記の設定**

距離の差	設定値
約150 cm	5.0 ms
約300 cm	10.0 ms
約450 cm	15.0 ms

3 “終了”を選び、(決定)を押す

サラウンドスピーカーの設定を変える場合、ドルビーデジタルおよびドルビープロロジックII音声への設定値は以下のようになります。

ドルビーデジタル	ドルビープロロジック II	
	MUSIC	MOVIE
0 ms	0 ms	10 ms
5 ms	5 ms	15 ms
10 ms	10 ms	20 ms
15 ms	15 ms	25 ms

使ってみよう

リモコンでテレビを操作する

本機のリモコンをテレビに向け、操作してください。

● **テレビを「入」「切」する**

テレビ 電源 を押す

● **テレビの映像入力を切り換える**

テレビ/ビデオ を押す

● **テレビのチャンネルを変える**

を押す

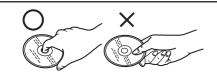
● **テレビのボリュームを調節する**

音量 を押す

お知らせ

● テレビの種類によっては正しく働かない場合があります。

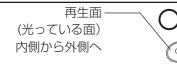
テレビの音声を本機で楽しむには

準備

● テレビの音声出力端子（左/右）と本機のテレビ音声端子（左/右）が接続されていることを確認する**(➜7ページ)**。

1. **[テレビ音声]**を押して、“TV”を選ぶ
2. テレビの音量を最小にして、本機のボリュームつまみで音量を調節する

● SFC（MOVIE、SPORT、MUSIC）**(➜29ページ)**を選ぶと、テレビの音声を5.1chのサラウンドで楽しめます。

お手入れ

ディスクの持ちかた

再生面には
手を触れない

ディスクが汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

再生面
（光っている面）
内側から外側へ

ディスクに露がついたら

急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、
乾いたやわらかい布でふいてください。

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、あとは空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因となるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

ディスクの取扱上のお願い

ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルを貼らない。
  （ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。）
- 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 以下のディスクを使わない
  –シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
  –そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  –ハート形など、特殊な形のディスク

- 次のような場所に置かない
  –直射日光の当たるところ
  –湿気やほこりの多いところ
  –暖房器具の熱が直接当たるところ

使ってみよう

必要なとき

用語解説

㋚ サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

㋟ ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

● ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルなどに混合することです。
DVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された音声は、正しく再生できない場合があります。

● デコーダー
DVD などに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

㋩ パン&スキャン/レターボックス
DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。
4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン&スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。

● フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画の映像などで使われています。)
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。(テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています。)

● フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

=
+
- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

● プログレッシブ/インターレース
従来の映像信号(NTSC)は525i(i: インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その 525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p: プログレッシブ=順次走査)といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。
また、HDMI映像・音声出力端子はハイビジョン映像出力(750p、1125i)にも対応しています。プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむには、それぞれ対応テレビが必要です。

Ⓐ AAC (Advanced Audio Coding)
衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドヴァンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮することができます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

Ⓒ CPPM (Content Protection for Prerecorded Media)
DVDオーディオのファイルコピーを防止する著作権保護技術です。本機はCPPMに対応しています。CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声をHDMIで楽しむには、CPPM対応機器と接続してください。

Ⓓ D1/D2映像出力
S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力(525p)にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

● Dolby Digital
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ(2チャンネル)はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

● DTS (Digital Theater Systems)
映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

Ⓗ HDMI (High-Definition Multimedia Interface)
HDMIとは、デジタル機器向けの次世代インターフェイスです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。また、本機のHDMI 映像・音声出力端子はハイビジョン映像出力(750p、1125i)にも対応しています。ただしハイビジョン映像を楽しむには対応テレビが必要です。

Ⓙ JPEG (Joint Photographic Experts Group)
カラー静止画を圧縮、展開する規格の一つです。
デジタルカメラなどで保存形式として JPEG を選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

Ⓛ LPCM (リニア PCM)
CD などで使われている、圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

Ⓜ MP3 (MPEG Audio Layer 3)
元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。

Ⓟ PBC (Playback control)
ビデオCDの再生方式の一つで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。(本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています。)

Ⓢ S映像出力
映像信号をカラー(C)信号と輝度(Y)信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。

Ⓦ WMA (Windows Media™ Audio)
米国Microsoft Corporationで開発された音声圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

Q&A(よくあるご質問)

	Q(質問)	A(回答)	ページ
設置／接続	**他のスピーカーはつなげるか**	● 付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属のスピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど音の正しい特性が得られません。	—
	プログレッシブ映像を楽しむにはどのようなテレビが必要か	● D2、D3、D4のいずれかの入力端子、あるいはHDMI入力端子のある当社製テレビであれば、プログレッシブ映像に対応しています。テレビの説明書をご覧ください。	—
	テレビにS映像端子、D端子、HDMI端子があるがどれに接続したらいいか	● D映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像端子に接続する場合より忠実に色を再現します。さらにHDMI端子の場合は、忠実な色再現のほか、音声信号もケーブル一本で伝送できるため非常に便利です。	8
	別の地域で使えるか	● 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。	—
使いかた	**海外で買ったDVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDは再生できるか**	● 映像方式がNTSCであれば再生できます。 ● DVDビデオは、リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	— 表紙
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか	● リージョン番号がないディスクは再生できないことがあります。	—
	CD-Gは再生できるか	● 再生できません。	—
	DVDはビデオに録画できるか	● ほとんどのDVDはコピー禁止処理がされており、録画できません。	—
	VIERA Link(HDAVI Control)は使えるか	● 本機はVIERA Link(HDAVI Control)機能には対応していません。	—
画面表示	**テレビなど接続機器が対応している走査線数が、本機の“ビデオ出力モード”に表示される走査線数と異なる**	● “525p”と“480p”、“750p”と“720p”、“1125i”と“1080i”はそれぞれ同等のものです。接続機器が“480p”対応でしたら、本機の“ビデオ出力モード”を“525p”に設定してください。	26

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	**電源が入らない**	● 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	10
	勝手に電源が切れる	● スリープタイマー機能が働いていませんか。	19
操作	**各ボタン操作ができない**	● ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。 ● 落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。または電源「切」後、電源コードを抜き差ししてください。 ● 寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露がつくことがあります。1～2 時間放置してください。	— — —
	リモコンが働かない	● 電池が入っていますか。電池が切れていませんか。 ● リモコン受信部に向けて正しく操作してください。 ● リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）がありませんか。 ● リモコン受信部に、日光などの強い光が直接当たっていませんか。	11 11 — —
	[▶ 再生]を押しても、再生が始まらない（または、すぐに停止する）	● 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。 ● ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ● ディスクを正しく入れてください。 ● 記録済みのディスクが入っているか確認してください。 ● 初期設定“視聴制限”の設定を確認してください。 ● 静止画データの入ったMP3 ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。 ● 静止画を含むWMAは再生できないことがあります。 ● ディスクにCD-DA と別のフォーマットが含まれている場合、正しく再生できないことがあります。	表紙, 14 35 16 — 31 — — —
	初期設定画面が選べない	● “DVD/CD”が選ばれているか確認してください。 ● プログラムまたは、ランダム再生中は選べません。	16 20,21
	プログラム／ランダム再生ができない	● プログラム／ランダム再生できないDVD ビデオもあります。	—
	DVD-A 音声を切り換えると、トラックの先頭に戻る	● 静止画付または、音声のみのトラックでは正常な動作です。	—
	VCD （プレイバックコントロール付）PBCメニュー画面が表示されない	● **[■ 停止]**を2回押した後、**[▶ 再生]**を押してください。	—
	VCD スキップ・早送り／早戻し中にメニュー画面が表示される	● ビデオCDでは正常な動作です。	—
	A-Bリピートの終点（B点）が自動的に決定される	● 始点（A 点）のみを設定すると、タイトル／トラックなどの終わりがB点となります。	—
	マーカーが付けられない	● DVD-RAMやDVD-R/RW （DVD-VR）ディスクにはマーカーは付けられません。 ● 再生経過時間が表示されないディスクにはマーカーは付けられません。	— —
	アングルを変えて見ることができない	● 複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	—
	音声／字幕が切り換えられない	● 複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。 ● 本機の**[音声]** **[字幕]**ボタンでは切り換えできないディスクでも、ディスクのメニュー画面等で切り換えできる場合があります。	— —
	字幕が出ない	● 字幕の入っていないディスクでは字幕が表示されません。 ● 字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。 ● A-B リピート再生のA 点、B 点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	— 18 —
	DVD-VR DVD-V 場面が断続的に切り替わる	● アドバンストディスクレビューの動作中に音量や音響効果を変更すると、アドバンストディスクレビュー画面が表示されないまま機能が働き続けます。この場合は、機能を「切」にしてください。	26
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れたすべての設定をお買い上げ時の設定に戻したい	● **以下の操作で本機をお買い上げ時の状態に戻してください。** 1 “DVD/CD”を選び、停止中に本体の**[■]**（**停止**）とリモコンの[≧**10**]をテレビ画面の“オールクリア”が消えるまで押し続ける。 2 本体の電源を「切」「入」する	—

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
音声	**音声が出ない(または音がおかしい)**	● 音量が最小になっている、あるいは消音になっていませんか? ● 記録済みのディスクが入っているか確認してください。 ● スピーカーや本機の接続を確認してください。 ● 本機や接続した機器の電源および音声入出力の切り換えは正しいですか? ● 早見/早聞き・遅見/遅聞き再生中は2チャンネル出力になり、ドルビープロロジックII、サウンドエンハンスメントは働きません。 ● 再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。 ● WMA の再生中に雑音が生じることがあります。 ● ディスクや使用条件によっては効果が得られない、あるいは出にくい場合があります。 ● 本機の近くに電気器具の電源コードや蛍光灯がありませんか? 本機を少しそれらの機器から離して置いてみてください。 ● 4台以上のHDMI対応機器を本機とHDMI接続すると、音声が聞こえなくなることがあります。本機と接続しているHDMI対応機器の数を少なくしてください。 ● 初期設定 “HDMI” メニューの “音声出力” が “入” になっているか確認してください。	16, 19 — 5, 7~9 — 19 19 — — — — 32
	デジタル放送をデジタル接続で受信中、音声が途切れる、または出ない	● 音が途切れる場合、**[機能選択]**を押し続け、本機表示窓で “PFIX ON” を選んでみてください。 ● 音が出ない場合、**[機能選択]**を押し続け、本機表示窓で “PFIX OFF” を選んでみてください。	28 28
映像	**早送り/早戻しをしたら画像が乱れる**	● 多少乱れることがありますが、故障ではありません。	—
	テレビに映像が映らない(または映像や画面サイズがおかしい)	● 接続を確認してください。 ● テレビの電源は入っていますか? ● テレビの映像入力の切り換えは正しいですか? ● 初期設定 “TV アスペクト” は正しく設定されていますか? ● テレビ側の画面モードを変更してください。変更できない場合、“表示メニュー” の “4:3 アスペクト” で表示サイズを調整してください。 ● ズーム機能で調節してください。 ● プログレッシブに対応していないテレビに接続して、プログレッシブ出力にしていませんか? **[取消し]**を映像が正しく表示されるまで押したままにしてください。“525i” に設定が戻ります。 ● ハイビジョン方式の端子に接続していませんか。音声が乱れたり、映らないことがあります。 ● 映像端子またはS-VIDEO映像端子を使って本機とテレビを接続している場合は、“PRG” (プログレッシブ)が本機の表示窓に表示されていても出力はインターレースになります。 ● 4台以上のHDMI対応機器を本機とHDMI接続すると、映像が映らなくなることがあります。本機と接続しているHDMI対応機器の数を少なくしてください。 ● HDMI接続では、映像信号はハイビジョン映像になります。テレビがハイビジョン映像に対応していない場合は、他の映像出力端子をお使いください。 ● HDMI接続中、映像が正しく映らない場合は、**[取消し]**を映像が正しく映るまで押し続けてみてください。(映像出力は “525p” になります。)	7~9 — — 31 27 19 — — — — 7, 8 —
	プログレッシブ出力(525p、750p)時、あるいはHDMI接続時に映像の一部が二重にぶれて見える	● 映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。“画質メニュー” の “ビデオ出力モード” を “525i” (インターレース出力)にしてください。 ● HDMI接続をしている場合は、他の映像出力端子を使い、下記の設定をしてください。 1. 初期設定 “HDMI” メニューの “映像出力” を “切” にする。 2. GUIの画質メニュー “ビデオ出力モード” で “525i” を選ぶ。(または、**[取消し]**を押し続けると自動的に “525i” になります。)	26 7, 8, 26, 32

(つづく)

故障かな！？(つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
映像	**字幕の位置がおかしい**	● “表示メニュー”の“字幕位置”を調節してください。	27
	メニュー画面が正しく表示されない	● ズーム倍率を“×1.00”にしてください。 ● “表示メニュー”の“字幕位置”を“0”にしてください。 ● “表示メニュー”の“4:3 アスペクト”を“ノーマル”にしてください。	19 27 27
	オートズーム(ぴったりズーム)が働かない	● テレビ側のズーム機能を解除してください。 ● “オート”以外の倍率にするか、[◀▶] を押して微調整してください。 ● 映像全体が暗い場合は、働かないことがあります。またディスクにより働かないことがあります。	— 19 —
	表示窓が暗い	● “その他”の“表示窓ディマー”を“明”にしてください。	32
画面表示	**“⃠”**	● ディスクまたは本機で禁止されている操作です。	—
	“Gxx Cxx は再生できません”	● 本機で再生できないグループ／コンテンツです。	—
	“ディスクを確認してください”	● ディスクが汚れています。	35
	画面メッセージが出ない	● “画面表示”の“画面メッセージ”を“入”にしてください。	32
	“著作権保護のため音声はHDMIから出力できません”	● CPPM(➜36ページ)非対応機器とHDMIケーブルで接続すると、CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声は“HDMI映像･音声出力”端子からは出力できません。	—
本体表示(表示窓)	NO PLAY	● 本機で再生できないディスクが入っていませんか？ ● “ディスク”の“視聴制限”を設定したディスクが入っていませんか? ● 記録されていないディスクが入っていませんか？ ● ファイナライズされていないディスクが入っていませんか？	14, 15 31 — —
	NO DISC	● ディスクが入っていません。 ● ディスクが正しく入っていません。	— 16
	F61	● スピーカーコードの接続を確認してください。それでも直らないときは販売店にご相談ください。	5
	DVD U11	● ディスクが汚れています。	35
	ERROR	● 操作方法がまちがっています。説明書をよくお読みの上、もう一度操作をやりなおしてください。	—
	DVD H DVD F **“DVD H□□□” “DVD F□□□” (□は数字)**	● 異常が発生しました。(□の数字は、本機の状態によって変わります。) 電源を一度、「切」「入」してください。または電源「切」後、電源コードを抜き差ししてください。	—
	“W”が点滅する W	● 本機とレシーバーがワイヤレスでリンクされていません。本機、またはレシーバーの電源コードが正しく接続されているか確認してください。そのあと本機の電源を「切」「入」してください。 ● トランシーバーが本機に正しく差し込まれているか確認してください。	10 10
	“D.MIX”が点滅する DVD-A D.MIX	● ダウンミックスできない音声を再生しようとしています。 ダウンミックスとはディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルなどに混合することです。DVDオーディオディスクの中には制作者の意図としてダウンミックスできない音声が記録されている場合があり、本機ではこのような音声を正しく再生できないことがあります。	—
	U70 **“U70□” (□は数字)**	● HDMI接続について以下をご確認ください。(□の数字は、本機の状態によって変わります。) – 接続機器がHDMIに対応していますか？ – HDMIケーブルが長すぎませんか？ – HDMIケーブルが傷ついていませんか？	—
	U701	● 接続機器がHDMIに対応していません。	—

■処置をされても表示が消えないときは

お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜46、47 ページ) に修理をご依頼ください。その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。

■著作権など

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

  WMA (Windows Media™ Audio) とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- HighMAT™、HighMATロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- HDCD®、HDCD®、High Definition Compatible Digital®、およびPacific Microsonics™は、Pacific Microsonics, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  HDCDシステムはPacific Microsonics, Inc.からのライセンスに基づいて製造されています。本製品は下記の単数または複数の特許の対象です。米国：5,479,168、5,638,074、5,640,161、5,808,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531、ならびにオーストラリア：669114、およびその他申請中の特許。
- 「DTS」および「DTS Digital Surround」はDTS社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

主な仕様

■総合

電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	本機約 115 W[電源切(スタンバイ)時:0.3 W]
外形寸法(本機)(幅×高さ×奥行)	430 mm×60 mm×354 mm
質量(本機)	約3.3 kg
許容周囲温度	+5℃～+35℃
許容相対湿度	5 %～90 % RH (結露なきこと)

■ディスク

再生可能ディスク(8cm、12cm)	DVD (DVDビデオ、DVDオーディオ) DVD-RAM (DVD-VR、JPEG※4、5、MP3※2、5) DVD-R(DVDビデオ、DVD-VR、JPEG※4、5、MP3※2、5) DVD-R DL(DVDビデオ、DVD-VR) DVD-RW(DVDビデオ、DVD-VR、JPEG※4、5、MP3※2、5) +R/+RW (DVDビデオ) +R DL (DVDビデオ) CD、CD-R/RW [CD-DA、ビデオCD、SVCD※1、MP3※2、5、WMA※3、5、JPEG※4、5、HighMAT レベル2(音声・映像)]
ピックアップ	波長(DVD/CD): 662/785 nm レーザーパワー(DVD/CD): クラス1/クラス1M
オーディオ出力(ディスク)	チャンネル数:5.1ch [フロント(右)、フロント(左)、センター、サラウンド(右)、サラウンド(左)、サブウーハー]

※1 IEC62107 規格準拠
※2 MPEG-1 Layer3、MPEG-2 Layer3
※3 Windows Media Audio Ver 9.0 L3.
Multiple Bit Rate(MBR) との互換性はありません。
※4 Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
画像解像度: 160×120 ～ 6144×4096
(サブサンプリング:4:0:0、4:2:0、4:2:2、4:4:4)
極端に細長い画像は表示されない場合があります。
※5 MP3/WMA/JPEG を合わせた再生可能な最大コンテンツと最大グループの合計
再生可能な最大コンテンツ数
(トラック数と画像数): 4000
再生可能な最大グループ数: 400

■アンプ

実用最大出力(ドルビーデジタルモード)	フロント(L/R) 110 W(1 kHz 3 Ω 全高調波ひずみ率 10 %) サラウンド(L/R)※6 110 W(1 kHz 3 Ω 全高調波ひずみ率 10 %) センター 110 W(1 kHz 3 Ω 全高調波ひずみ率 10 %) サブウーハー 110 W(100 Hz 3 Ω 全高調波ひずみ率 10 %) 合計 660 W

※6ワイヤレスレシーバー(SH-FX60)使用時の出力

■端子

デジタル音声入力※7	光デジタル入力: 光コネクター サンプリング周波数: 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ヘッドホン	端子: ⌀ 3.5 mm ステレオミニプラグ
外部入力(本機前面)	感度: 100 mV、15 kΩ 端子: ⌀ 3.5 mm ステレオミニプラグ

※7PCMとAACフォーマットに対応しています。

■映像

信号形式	NTSC	
映像出力	出力レベル 出力端子	: 1.0 Vp-p (75 Ω) : ピンジャック(1系統)
S映像出力	Y出力レベル C出力レベル 出力端子	: 1.0 Vp-p (75 Ω) : 0.286 Vp-p (75 Ω)(NTSC) : S端子 (1系統)
D1/D2 映像出力	Y出力レベル P_B/C_B出力レベル P_R/C_R出力レベル 出力端子	: 1.0 Vp-p (75 Ω) : 0.7 Vp-p (75 Ω) : 0.7 Vp-p (75 Ω) : D端子 (1系統)
HDMI 映像・音声出力	出力端子	: 19ピン typeA端子 HDMI Ver1.2a (EDID Ver1.3)

■スピーカー

フロントスピーカー(SB-FS805)

タイプ	1ウェイ、1スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー	インピーダンス:3 Ω フルレンジ 6.5 cm コーンタイプ
許容入力(IEC)	110 W※8(最大)
出力音圧レベル	80 dB/W(1.0 m)
再生周波数帯域	110 Hz～25 kHz(−16 dB) 122 Hz～22 kHz(−10 dB)
外形寸法(幅×高さ×奥行)	92 mm×135 mm×95.4 mm
質量	0.75 kg

サラウンドスピーカー(SB-FS806)

タイプ	1ウェイ、1スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー	インピーダンス:3 Ω フルレンジ 6.5 cm コーンタイプ
許容入力(IEC)	110 W※8(最大)
出力音圧レベル	80 dB/W(1.0 m)
再生周波数帯域	110 Hz～25 kHz(−16 dB) 122 Hz～22 kHz(−10 dB)
外形寸法(幅×高さ×奥行)	92 mm×135 mm×95.4 mm
質量	0.75 kg

センタースピーカー(SB-PC805)

タイプ	1ウェイ、1スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー	インピーダンス:3 Ω フルレンジ 6.5 cm コーンタイプ
許容入力(IEC)	110 W※8(最大)
出力音圧レベル	80 dB/W(1.0 m)
再生周波数帯域	92 Hz～25 kHz(−16 dB) 110 Hz～22 kHz(−10 dB)
外形寸法(幅×高さ×奥行)	135 mm×95.5 mm×95.4 mm
質量	0.75 kg

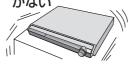
サブウーハー(SB-W805)

タイプ	1ウェイ、1スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー	インピーダンス:3 Ω ウーハー 16 cm コーンタイプ
許容入力(IEC)	110 W(最大)
出力音圧レベル	80 dB/W(1.0 m)
再生周波数帯域	29 Hz～165 Hz(−16 dB) 35 Hz～140 Hz(−10 dB)
外形寸法(幅×高さ×奥行)	183 mm×396 mm×267 mm
質量	4 kg

※8本体アンプに内蔵の低域減衰フィルターを通したときの値

■ワイヤレス機器

電源	AC 100 V 50/60 Hz	
消費電力	SH-FX80T SE-FX60	0.85 W 60 W スタンバイ時:1.2 W
外形寸法(幅×高さ×奥行)	SH-FX80T SE-FX60	97 mm×47.5 mm×8.5 mm 89 mm×189 mm×180 mm
質量	SH-FX80T SE-FX60	0.03 kg 0.7 kg
ワイヤレスモジュール	使用周波数帯域 チャンネル数 RF出力 10 dBm	2.403～2.425 GHz 23
許容周囲温度	+5℃～+35℃	
許容相対湿度	5 %～90 % RH(結露なきこと)	

この仕様は、性能向上のため変更することがあります

「JIS C 61000-3-2適合品」:
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部:限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。
● 特にお子様にはご注意ください。

使用上のお願い

■ワイヤレス機器について

本機は2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：松下電器産業株式会社

■周波数表示の見かた（定格銘板に記載）

低域のみを使用（例えば、2403 MHz～2525 MHz）し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

■機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
● 分解／改造する
● 本機後面に貼ってある定格銘板をはがす。

■使用制限

日本国内でのみ使用できます。

■使用可能距離

約8 m以内で使用してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。

■他機器からの影響

● 本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
  – ワイヤレスLAN：約2 m以上
  – 電子レンジ：約5 m以上
  – 電気製品／OA機器／電話機など：約2 m以上

通常、本機はこれらの家庭用機器との電波干渉を自動的に避けるよう設計されています。電波の干渉がある場合、接続したワイヤレス対応機器側でインジケーターが点滅し、リアスピーカーからの音声に雑音が混じることがあります。これは本機が適切な周波数を選ぶときに起きる現象で、本機の故障ではありません。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでワイヤレス機能を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

病院内や医療用電気機器のある場所でワイヤレス機能を使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

心臓ペースメーカーを装着している方はワイヤレス機能を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

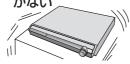
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。

● 特にお子様にはご注意ください。

使用上のお願い

■ワイヤレス機器について

本機は2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：松下電器産業株式会社

■周波数表示の見かた（定格銘板に記載）

低域のみを使用（例えば、2403 MHz～2525 MHz）し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

■機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

● 分解／改造する
● 本機後面に貼ってある定格銘板をはがす。

■使用制限

日本国内でのみ使用できます。

■使用可能距離

約8 m以内で使用してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。

■他機器からの影響

● 本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。機器により以下の距離を保って使用することをおすすめします。
  – ワイヤレスLAN：約10 m以上
  – 電子レンジ：約5 m以上
  – 電気製品／OA機器／電話機など：約2 m以上

通常、本機はこれらの家庭用機器との電波干渉を自動的に避けるよう設計されています。電波の干渉がある場合、接続したワイヤレス対応機器側でインジケーターが点滅し、リアスピーカーからの音声に雑音が混じることがあります。これは本機が適切な周波数を選ぶときに起きる現象で、本機の故障ではありません。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用(例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など)により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■保証書(別添付)
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間:お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間
当社は、この DVDホームシアターサウンドシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
「故障かな!?」(➜38～40ページ)に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	DVDホームシアターサウンドシステム	**お買い上げ日**	年　月　日
品番	SC-HT805W	**故障の状況**	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話･PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内)	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0106

さくいん

愛情点検　長年ご使用のDVDホームシアターサウンドシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	販売店名	
品　番	SC-HT805W		☎（　）　－

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号

RQT8623-2S
F0306YM2056